

## はしがき

本書 *Legal Minds —15 Journeys in Law* は、大学で英語教育を専門とする教員と法学部で英米法を専門とする教員による、日本で初めての司法英語の教科書であろう。日本の大学を国際化する必要性が叫ばれ、そのために必要な英語の教科書はこれまでも数多く出版されてきた。しかし、司法の分野で、大学の国際化に対応できる英語力の育成を目指し、一般英語と専門英語の橋渡しをするための教材は、本書が最初ではないだろうか。

本書は、アメリカあるいはイギリスの法律を理解するために極めて重要で基本的な 15 の判例を厳選し、各章の教材の基盤にしている。これらの判例は、その後の司法判断の拠り所となっているものや、現在の英米法を理解する上で大変重要なものばかりである。

本書を始めとするさまざまな司法英語の研究・調査・分析をするために、著者の鳥飼と溜箭はイギリスの最高裁判所の判例を 1,451,263 語、イギリスのロー・ジャーナルを 1,267,048 語、アメリカの判例を 1,574,403 語、アメリカのロー・ジャーナルを 1,303,223 語収集し、4 本の司法英語コーパスを構築した。そのコーパスを駆使して、どのような一般英語の語彙が司法英語で専門的な意味で使用されているのか、どのような専門用語が繰り返し使用されているのかを徹底的に調べた。日本人学生が司法英語を勉強する時間は限られている。知らない単語を出てきた順に辞書で調べ覚えるのではなく、司法英語独特の語彙や表現を頻度の高い順に学んでいくことが、彼らの限られた時間を有効に使い、質の高い英語学習を可能にすると確信しているからである。この調査の結果は、巻頭の司法語彙一覧表、各章の本文の脚注、練習問題を作成する際の貴重なデータとして大いに活用した。その意味で、本書は決して場当たりの司法英語の語彙や表現を指導する教科書ではないのである。

本書の設問や練習問題も、単に判例が読めるようになればいいというだけの目的で作られてはいない。訴状を読んで、その裁判の争点が理解でき、結論を予測できる。原告の主張を読んだり聞いたりして、その内容が理解できる。ある英語の語彙が「一般的な意味」と「司法英語の専門的な意味」で使われている場合に、その違いをしっかりと理解できる。被告の主張を中心とした会話文を聞き、その内容をもとに原告と被告の主張をまとめることができる。評決なり判決を読んだり聞いたりして、その内容が理解できる。その判例に関連した基本的な司法英語の専門語彙を英語と日本語の意味で覚え、使えるようになる。これらのプロセスを全て英語で行うこともできるよう、本書は編集されている。司法英語を単に理解だけでなく、司法英語を使って発信できるようになるための教科書でもある。

本書を活用していただき、一人でも多くの日本人学生が英米のロースクールに留学するなどして、専門分野で各国の学生と競争し、大きな成果を上げられんことを祈るばかりである。まさに、それこそが本書の目的だからである。

立教大学異文化コミュニケーション学部 鳥飼慎一郎  
立教大学法学部国際ビジネス法学科 溜箭将之  
愛知県立大学外国語学部 Brett Cumming

# 本書の使い方

## 学生の皆さんへ

この教科書では、アメリカやイギリスの法律や司法のシステムを理解するうえで、とても重要で、かつ良く知られた15の裁判を取り上げています。授業の前に、ぜひそれらの裁判について英語で書かれた情報をインターネットで検索し、分かる範囲で予備知識を得てください。そして、授業で学んだ後、改めてその裁判について調べてみると、授業の前に比べ、驚くほど良く理解できる自分に気付くはずですよ。

アメリカやイギリスの裁判について学ぶことは、現実にそこで暮らした人々の歴史の積み重ねや文化を学ぶことです。この教科書は、彼らの通った裁判という道を追体験できるようになっています。アメリカやイギリスの法廷で実際に繰り広げられた証言や弁論の様子を想像しながら、法律英語の世界を存分に広げていきましょう。

### ■ Overview of the Complaint/Subpoena/Appellate Brief

ここで提示している文書は、**本物の訴状や召喚状、上訴趣意書**から一部を抜粋してまとめたものです。すべてを理解する必要はありません。ざっと目を通し、

- ・どのような人たちが関わっている裁判か
- ・いつ頃、どこへ提出されたのか
- ・どういった出来事があったのか

といった情報を拾い読みをしたうえで、**日本語による質問**に答えましょう。この質問も、後に続く内容を学習するうえで重要なヒントになっています。

### ■ Reading: Plaintiff's/Prosecution's/Defendant's/Petitioner's Story

ここでは、裁判のきっかけや経緯について読み進めます。当事者の立場になって、なぜ裁判になったのか、その展開や争点についてなどを **Notes** も活用しながら学習しましょう。その後、**Comprehension Check** で述べられているポイントを確認します。

そして、**Look for the Legal Term** では、本文で使用されている1つの英単語を取り上げ、普段からよく目にする一般的な単語が、司法の場面では特別な意味をもって使われていることを学習します。辞書も活用して、2つの意味の違いを確認しましょう。

## ■ Listening: Side B Story

裁判は、一方の言い分を聞くだけでは全体を理解したことにはなりません。ここでは、関係者の会話を聞きながら**穴埋め問題**に取り組み、もう一方の立場の意見や裁判の背景について知ること、裁判についての理解を深めましょう。

## ■ What Do You Think?

リーディングとリスニングで得た裁判の争点を整理し、双方の言い分を日本語でまとめます。そして、陪審員や裁判官になったつもりで議論を行い、裁判の結末を予想しましょう。

## ■ Let's Hear the Verdict/Judgment, Let's Hear What Happened

裁判の結末について、音声で確認します。キーワードとなる単語の**穴埋め問題**に取り組みながら、勝ったのはどちらか、損害賠償の金額はいくらか、評決や判決の決め手は、などに注目して聞きましょう。裁判の社会的影響や、後日談なども盛り込んだ内容になっています。そして、正誤問題形式の *Comprehension Check* で理解度を確認します。

## ■ Enhance Your Vocabulary

同様の裁判や事件に関する英文を読むときに、さらに理解を深めるために必要な単語を身につける **語彙問題**です。関連する英単語とその **definition** を用意していますので、それらの単語を日本語では何と言うのかを答えます。どれも重要なものばかりですので、しっかりと覚えて関連語彙を増やしましょう。

## ■ Put the Words in Order

法律や裁判に関連した一文を、英語で表現する **並べ替え作文問題**です。一見かなり専門的に感じられる日本語でも、キーワードさえ抑えられれば、的確な英語表現ができることを実感してください。

---

## ● Learn More: Educate Your Legal Mind

5章ごとに、英米の法律や裁判に関するコラムと、各章で扱った裁判についての『ひとくち解説』を用意しました。どれも英米法の専門家による分かりやすい内容になっていますので、さらに興味や関心を引き立ててくれるでしょう。

# Legal Minds

## 15 Journeys in Law

### Table of Contents



- 01 ● はしがき／本書の使い方
- 06 ● 知っておきたい司法の英単語



- 
- 09 ● **Case 1 Shouldn't be That Hot!**  
訴訟社会アメリカ？ ホットコーヒーやけど裁判の真実
  - 15 ● **Case 2 Damages for a Five-Day Delay**  
『知らなかった』では済まされない?! 配達遅れで被った損害への支払い
  - 21 ● **Case 3 A Brand New Car (Well, Almost)**  
高すぎる勉強代？ 顧客が BMW 社に求めた一罰百戒
  - 27 ● **Case 4 Chasing a Celebrity Murder Suspect, Live on TV**  
アメリカ中が熱狂した有名人の逃亡劇と世紀の裁判
  - 33 ● **Case 5 Dangerous Driving**  
スピード違反のドライバーと警察のカーチェイスが生んだ悲劇
  - 41 ● **Case 6 I Won't Tell You My Source!**  
CIA 作員の身元暴露事件——国家機密の漏えいと報道の自由
  - 47 ● **Case 7 A Fair Trial? Choosing the Jury**  
なぜこんなことに？ 陪審員が全員女性の裁判はこうして始まった

- 53 ● Case 8 **Objection, Your Honor!**  
プロに徹して公平に裁けるか——当事者からの献金を受けた裁判官
- 59 ● Case 9 **Made the U.S. My Home**  
戦時中の強制収容と闘った日系アメリカ人フレッド・コレマツ
- 65 ● Case 10 **Separate and Not Equal**  
人種差別の壁をなくすために裁判に挑んだ、父親の想い
- 73 ● Case 11 **Reverse Discrimination?**  
白人だから不合格?! 人種の是正措置と大学入学判定
- 79 ● Case 12 **Season's Greetings: Tradition or Violation?**  
市有地のクリスマスツリーが引き起こした政治と宗教の問題
- 85 ● Case 13 **Stop Copying Our Products!**  
アップル対サムスン——特許を侵害したのはどちらの企業が
- 91 ● Case 14 **ObamaCare — Care for All Americans**  
自由と自己責任の精神に挑戦——オバマ大統領の医療制度改革
- 97 ● Case 15 **A Gift on Foreign Soil**  
ナイジェリアでの丸紅の活動、なぜかアメリカ司法省に摘発される



## Learn More: Educate Your Legal Mind

司法コラム／ひとくち解説



- 39 ● 英米の法と裁判所  
40 ● ひとくち解説① (Case 1 ~ 5)
- 71 ● 法廷の構造  
72 ● ひとくち解説② (Case 6 ~ 10)
- 103 ● アメリカ法と宗教  
104 ● ひとくち解説③ (Case 11 ~ 15)

# Shouldn't be That Hot!

訴訟社会アメリカ？ ホットコーヒーやけど裁判の真実



## Overview of the Complaint

以下の訴状にざっと目を通し、  
ペアまたはグループで話し合しましょう。

- ・ 原告はだれでしょうか。
- ・ 被告はだれでしょうか。
- ・ あなたが被害者であったならば、同じようにマクドナルドを訴えますか。



DL 02



CD 02

District Court of New Mexico  
Second Judicial District Court

Stella LIEBECK, Plaintiff

v.

McDonald's Corporation, Defendant

October 5, 1993

Complaint for Damages

Plaintiff STELLA LIEBECK was 79 years old at the time of the injury. As a result of spilling the hot coffee on her thighs, Plaintiff was severely burned.

For this, Plaintiff sues Defendant in the amount of \$125,000.00 for medical expenses, lost earnings, and physical and mental pain. Plaintiff also sues in the amount of three times compensatory damages for punitive damages.

### Shouldn't be That Hot!

On February 27, 1992, Stella Liebeck went to McDonald's as she often did and ordered her favorite cup of coffee from the drive-through. It was a beautiful day and a nice chance for her to spend some time with her grandson, Chris, who was kind enough to drive her there. After getting  
5 her coffee, Chris parked the car in the lot so Stella could add cream and sugar.

However, in doing so, the lid was very difficult to remove. Even though Stella was careful by placing the cup between her knees, she ended up spilling all the coffee on her lap, badly burning her thighs in the process.  
10 Stella was then hospitalized for more than a week with serious third-degree burns to six percent of her body.

Stella thought that the coffee served by McDonald's was far too hot. Despite people expecting it to be hot, she seriously believed it shouldn't be scalding to badly burn people. Stella's initial request to McDonald's for  
15 \$20,000 was certainly not to **damage** their reputation, however it was refused with a counter offer of a mere \$800.

Upset, Stella sought legal representation, officially filing in court for **damages**. As Stella and her lawyer gathered information, they discovered that during the past ten years McDonald's had received at least 700 re-  
20 ports of people burned by their coffee. She was even more upset to know that McDonald's had settled those claims and not made changes  
25 to their sales policy.



**Notes** in the lot「駐車場に」 ended up spilling「最後にはこぼしてしまった、とうとうこぼしてしまった」 in the process「その過程で、(ふたを開ける)途中で」 was hospitalized「入院した」 third-degree burns「重度のやけど(やけどの程度を最も軽いfirst-degree burnsから最も重いthird-degree burnsあるいはfourth-degree burnsまで分類したうちの重度のやけど)」 scalding「やけどをするような高温の」 reputation「評判、評価」 was refused「拒否された」 counter offer「代案、対抗する提案」 sought legal representation「弁護士による代理を求めた」 filing in court for ~「~を求めて訴訟を起こす」 settled「和解した、解決した、処理した」 sales policy「販売方針」



## Comprehension Check

本文の内容に合わせて、最も適切な選択肢を選びましょう。

1. When did Stella burn herself with the hot coffee?
  - a. When she tried to park the car.
  - b. When she tried to open the coffee cup.
  - c. When she added cream and sugar to the coffee.
2. What was McDonald's response when Stella first made a claim for the damages?
  - a. McDonald's offered to pay her \$800.
  - b. McDonald's decided to pay her \$20,000.
  - c. McDonald's refused to pay her any money.
3. Stella and her lawyer found that
  - a. there were already 700 lawsuits accusing McDonald's of serving extremely hot coffee.
  - b. McDonald's had ignored other claimers and never paid the damages.
  - c. McDonald's had never changed the temperature of their coffee.



## Look for the Legal Term

本文中、“damage”という単語が2つの意味で使われています。一般的な用法と司法英語としての用法を本文中から探し、それぞれの“damage”の意味を確認しましょう。

一般英語 [ 行目 ] :

---

司法英語 [ 行目 ] :

---



## Listening: Side B Story

 DL 04  CD 04

音声を聞いて ( ) を埋め、音声に合わせて会話の練習をしましょう。

**Lawyer 1:** I have a new client who's suing McDonald's, can you believe it?

**Lawyer 2:** Really? What for?

**Lawyer 1:** It's an elderly woman who badly burned herself drinking their coffee. She's (<sup>1</sup> ) the coffee was too hot!

**Lawyer 2:** What? But, isn't coffee supposed to be hot? It might be worth checking out the (<sup>2</sup> ) they serve it at.

**Lawyer 1:** Yes, I certainly intend to do so. Also, she's already asked them to cover her (<sup>3</sup> ) (<sup>4</sup> ) but they turned her down. It sounds like McDonald's isn't taking her claim seriously.

**Lawyer 2:** But surely the customer has some (<sup>5</sup> ) to be careful when drinking hot coffee! Besides, if the coffee McDonald's serves wasn't hot, then customers would (<sup>6</sup> ). Your client might find she ends up losing.

## What Do You Think?

裁判の内容について学習して、どのように思いましたか。グループに分かれそれぞれの立場について表の空所を埋めてまとめ、この裁判の結果について議論しましょう。



**原告**

原告がやけどをしたのは、<sup>1</sup> \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ からである。被告は、  
ほかにも<sup>2</sup> \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ にもかかわらず、十分な対策をとっていなかった。



**被告**

ホットコーヒーは熱くなければならず、  
もし<sup>3</sup> \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ だろう。ホット  
コーヒーを買った客自身も<sup>4</sup> \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_ するべきである。



最後に評決内容を音声で確認し、( ) にふさわしい語を書き入れましょう。

In the 1994 trial of Liebeck v. McDonald's Restaurants, a twelve-person jury reached a (<sup>1</sup> ) and awarded \$160,000 to cover medical (<sup>2</sup> ). In addition, \$2.7 million was awarded because the coffee was defectively served and unreasonably dangerous. McDonald's was  
5 found to be 80% responsible for the (<sup>3</sup> ) caused.

During the high-profile case, attorneys for Liebeck showed reports detailing (<sup>4</sup> ) of McDonald's restaurants serving coffee at between 82 and 88 degrees, clearly hot enough to (<sup>5</sup> ) serious burns and indeed far hotter than the coffee sold at many other establish-  
10 ments. Interestingly, other well-known fast food chains have been subjected to (<sup>6</sup> ) of a similar nature since this case.

**Notes** awarded 「裁定した、(判決・評決で) 認めた」 was defectively served 「欠陥を伴って提供された」 was found 「(裁判所によって) 認定された」 high-profile case 「世間の注目を集めた訴訟」 establishments 「(有名ファーストフードチェーン) 店」 have been subjected to ~ 「~の対象となった」



## Comprehension Check

評決の内容と合っているものはTを、間違っているものはFを選びましょう。

1. McDonald's had to pay a total of \$2,860,000 to the Plaintiff. [ T / F ]
2. McDonald's served coffee just as hot as at other restaurants. [ T / F ]
3. McDonald's case helped other restaurants avoid similar lawsuits. [ T / F ]



## Enhance Your Vocabulary

---

本章で取り上げたトピックに関連の深い司法英語の重要語です。英語の説明を読んで、相当する日本語を [ ] の中に書き入れましょう。

1. plaintiff [                      ]  
— the party who brings a civil suit to court
2. defendant [                      ]  
— the party being sued in a civil proceeding or accused in a criminal proceeding
3. complaint [                      ]  
— the statement that explains a Plaintiff's claims submitted to a court to start a civil action
4. answer [                      ]  
— the Defendant's first statement to deny the Plaintiff's allegations
5. judge [                      ]  
— a court official who hears and decides legal matters
6. jury [                      ]  
— a group of ordinary people who listen to a case and give a verdict



## Put the Words in Order

---

日本語に合わせて、以下の語句を並べ替えて英文を完成させましょう。

1. ジョーンズ氏は、被告が自らの権利を侵害したとして訴えを提起した。  
Mr. Jones (his rights, alleging that, filed a complaint, the Defendant, had violated).  
Mr. Jones \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_.
2. 法律は、製造者が一定の安全措置に従うことを義務付けている。  
The law (certain safety measures, the manufacturers, follow, requires that).  
The law \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_.